

2022年度プログラム変更 意見募集

検討中案件に関する説明資料

No	案件名	パッケージソフト機能	主な対象業種	ページ
1	パッケージソフトの undo/redo機能改善	○	パッケージソフトを 利用している全利用者	1~2
2	搬出業務における エラー処理の追加		保税蔵置場、航空会社、CY、 通関業 等	3
3	PUO業務の 再送防止機能の実装	○	保税蔵置場	4
4	CAI01業務での 重量訂正について		航空会社、混載業、 保税蔵置場	5

No.1 : パッケージソフトのundo/redo機能改善

海/空区分	主な対象業種	パッケージソフト機能
海/空	パッケージソフトを利用している皆様	○

・現行仕様

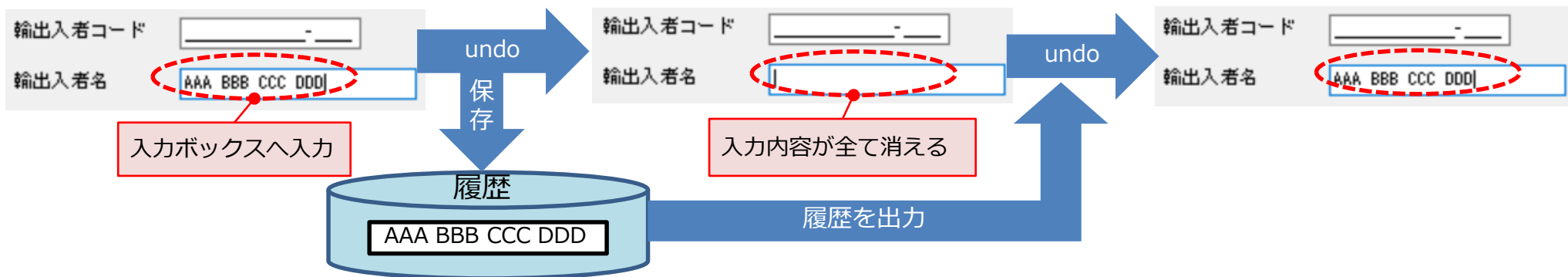
○保存のイメージ

-編集中の項目の内容を「元に戻す」ボタンを押下時に履歴として保持する

○Undo（「元に戻す」）のイメージ

-編集中の項目をクリアする

-クリア後の場合、履歴を呼び出す



Undo（アンドゥ）とは・・・

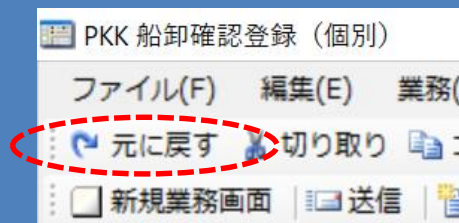
直前に行った操作や処理を取り消し、元の状態に戻すこと。

パッケージソフトでは、業務画面のメニューバーの「元に戻す」をクリックするか、ショートカットキーの「Ctrl +Z」にて、undo機能が実行される。

Orredo（リドゥ）とは・・・

undoを取消すこと。

パッケージソフトでは、redo機能を実装していない。



No.1 : パッケージソフトのundo/redo機能改善

海/空区分	主な対象業種	パッケージソフト機能
海/空	パッケージソフトを利用している皆様	○

・変更仕様 (案)

○編集履歴の保存イメージ

-項目編集後に項目を移動した際に、編集内容を確定保存する (複数保存可)

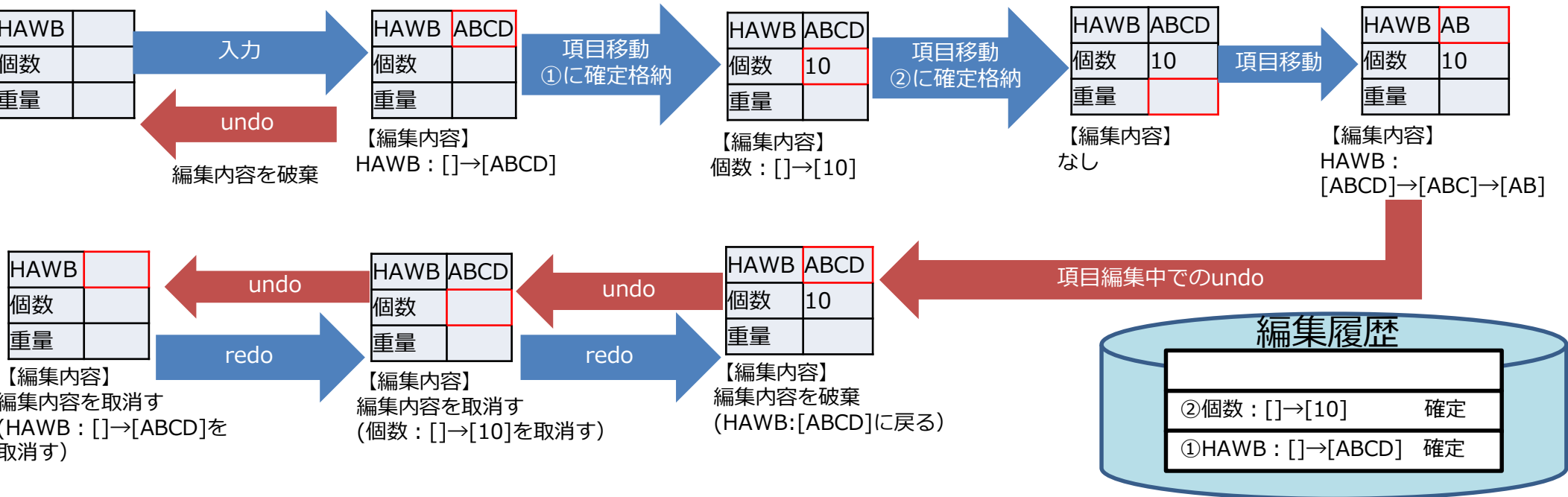
○Undo (「元に戻す」ボタン) のイメージ

- (項目を編集中の場合) 編集内容を破棄する

- (項目を編集していない場合) 過去の編集履歴を遡って取消す

○redoのイメージ

-編集履歴単位に、undoを取消す



No.2 : 搬出業務におけるエラー処理の追加

海/空区分	主な対象業種	パッケージソフト機能
海/空	保税蔵置場、航空会社、CY、通関業などの搬出業務実施者	

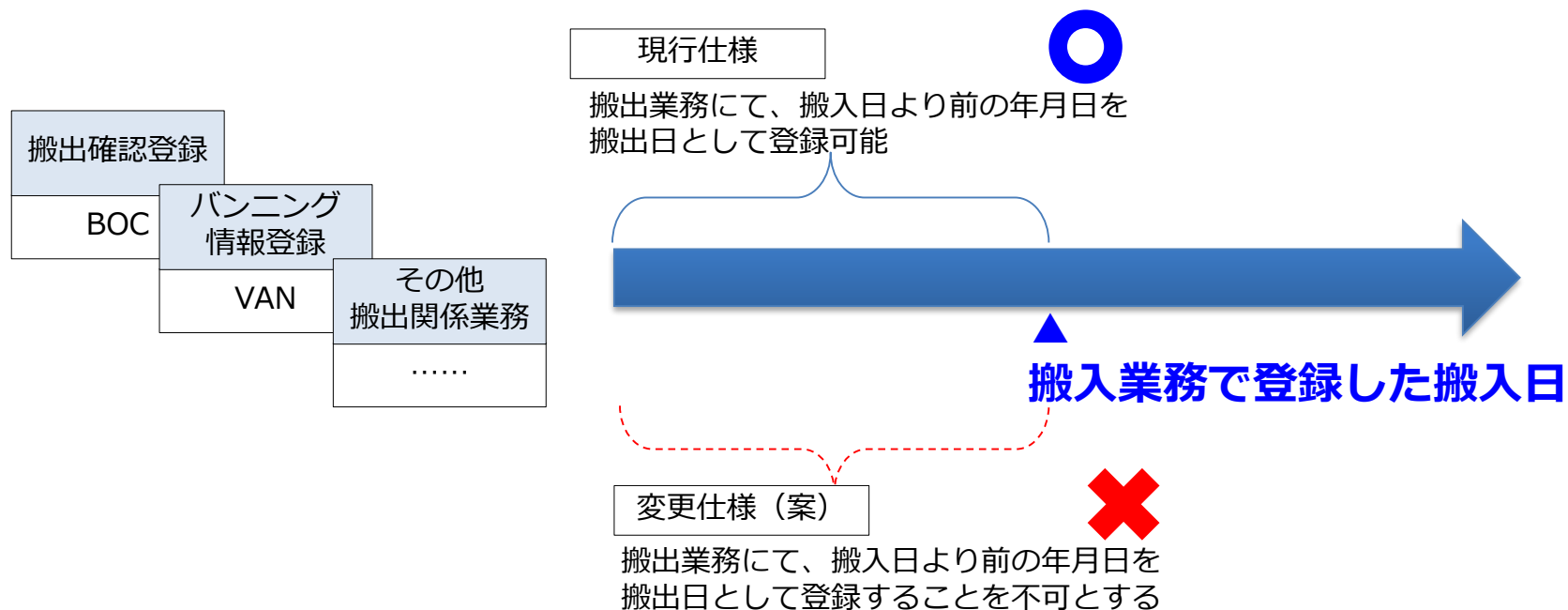
・現行仕様

貨物搬出業務の搬出年月日について、対象貨物の搬入日より前の年月日入力して搬出登録が可能である。

・変更仕様（案）

上記内容の場合は、エラーとして、登録不可とする。

※エラーとする対象業務は検討中



No.3 : PUO業務の再送防止機能の実装

海/空区分	主な対象業種	パッケージソフト機能
空	保税蔵置場	○

・ 現行仕様

パッケージソフトでPUO（搬送指示情報登録）業務を送信後、業務メッセージ欄に「COMPLETION」が出て正常終了した場合であっても、再送可能になっているため、「送信」ボタン、もしくは「F12」キーにて、容易に再送できてしまう。

・ 変更仕様（案）

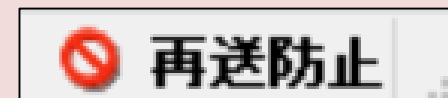
PUO業務送信後に正常終了した場合は、パッケージソフトの「再送防止機能」により、再送を防止する。

【再送防止機能】

特定業務において、パッケージソフトで連続して送信することを防ぐために実装されている機能です。

業務画面右下に「再送防止」と表示されている場合は、「送信」ボタン、もしくは「F12」キーで、再度送信することはできません。

再送したい場合は、「再送防止」を右クリックして、再送防止をキャンセルすることができます。



No.4 : CAI01業務での重量訂正について

海/空区分	主な対象業種	パッケージソフト機能
空	航空会社、混載業、保税蔵置場	

・現行仕様

特定の条件下※において、CAI01業務にてACH業務で登録された重量と同一の値に訂正することが出来ない。
 (※ACH業務とPKG業務で登録した重量に、差分がある状態で、突合済の貨物)

・変更仕様 (案)

上記の場合であっても、訂正出来るように変更する。

